

らっきょうの収穫機開発コンソーシアム設立式

本日は、らっきょうの収穫機開発コンソーシアム設立式を開催しましたところ、皆さまには年度末等で何かとお忙しいところではありますが、ご出席いただき感謝申し上げます。

さて、令和4年産のらっきょうの販売も3年ぶり6億円を突破したということで、良い報告がありました。令和5年も目標を達成され、良い報告がありますことを願っております。

そうは言いましても、以前より、人手不足という大きな課題があります。その解消策として、作業の効率化を図り、従事者の負担軽減とすることが急務であります。

この度、その課題解消に向け、鳥取大学や農研機構さんの研究機関と兵庫県養父市にあります八鹿鉄工（株）さん、そして本町がタッグを組み、らっきょうの掘り取り作業と同時に根や葉を切りとる機械を開発しようということになりました。農研機構クラスター事業を活用した国10/10の補助で、3年を目途に取り組む、産学官連携事業であります。

また開発に際しては、JA鳥取中央さんやらっきょう生産部、そして鳥取県さんから試験協力や意見・要望をいただきながら、連携して取り組んでまいりたいと思っております。

開発がうまくいけば、人手不足の解消はもちろんのこと、作付け面積の減少を食い止める、産地を維持していくことが大いに期待できます。

本日をこの事業を推進していく、キックオフの場とし、今後、連携し、産地の維持・発展に向けた取り組みが加速することを祈念し、設立式に際しましてのあいさつとさせていただきます。

令和5年3月29日
北栄町長 手嶋俊樹